

空き家対策の担い手強化・連携モデル事業(一般社団法人全国古民家再生協会)

課題と目的	空き家問題に対して、全国のシルバー人材センターの会員に対して木造住宅簡易鑑定士を通じ木造住宅、空き家に対する知識を育成し空き家の調査ができる人材を育成するとともに、空き家発生抑制に向け住教育インストラクターや一般市民に対して周知ができる体制を構築する。
取組内容	①木造住宅簡易鑑定士 講習、実技講習会の開催 ②住教育・空き家発生抑制に伴うセミナー各種の開催 ③住生活月間と連携したセミナーの開催
成果	木造住宅簡易鑑定士の資格者の輩出ならびに、実際の業務を実施。地域での連携体制を構築。自治体や関係機関と連携した住生活セミナーや空き家発生抑制に通じるセミナーを開催し空き家発生抑制等の知識を有した人材を輩出。

空き家の相談・調査が可能な連携構築

人財育成・空き家調査
・各地シルバー人材センター

育成



一般社団法人
全国古民家再生協会

育成

空き家発生抑制に向けた地域連携体制

空き家発生抑制に向けた人財育成
・(一社)住教育推進機構

①木造空き家簡易鑑定士
講習、実技講習会の実施

調査依頼

行政・各地自治体

空き家の相談



地域住民

住教育

行政

移住者

- ・地域コミュニティの構築
- ・地域住民とのコミュニケーションの醸成
- ・地域の住まい方の共有

各地にて住教育セミナーや勉強会を実施

②住教育・空き家発生抑制に伴う
セミナー各種の開催
③住生活月間と連携した
セミナーの開催



空き家発生抑制
及び提案

①木造空き家簡易鑑定士 講習	開催:30回
②住教育・空き家発生抑制に伴うセミナー各種の開催	開催:20回
③住生活月間と連携したセミナーの開催	開催:20回

こうした取り組みを通じ、地域での連携が進み空き家に対する意識は向上
各地自治体との空き家に関する連携協定が加速し始めた。
⇒未開催のシルバー人材センターから開催要望もあり